

広瀬川創生プラン・平成19年度重点事業評価票（仙台市）

【重点事業の計画概要】

【重点事業1】	「広瀬川で遊ぼう」の開催	
事業の説明	広瀬川の新たな魅力の創出を図るため、5月5日のこどもの日を中心に世代を超えて多くの市民が、広瀬川に親しめるイベントを広瀬川宮沢緑地で開催する。	
事業を協働する団体	広瀬川市民会議、仙台市	
目標	数値で表すことのできる成果	参加市民数2,400名以上を目指します。
	数値で表すことのできない成果	市民活動の拡大と参加市民数が増えることを目指します。
事業スケジュール	平成19年度	5月3～5日の3日間に開催
各主体の役割	市民	「広瀬川で遊ぼう」に積極的に参加します。
	NPO	「広瀬川で遊ぼう」を企画し、運営します。
	行政	「広瀬川で遊ぼう」の開催を広く市民に呼びかけます。
	企業	「広瀬川で遊ぼう」の開催を後援します。

【自己評価シート】

段階	No.	評価項目	評価
計画	1	事業の目的は明確ですか	5
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5
	3	事業に対する市民ニーズはありますか	5
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	5
	6	成果や目標は明確ですか	5
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	5
実施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	5
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	4
	12	必要な時期に情報交換しましたか	5
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	5
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5
終了	15	事業の成果目標は達成できましたか	5
	16	市民の満足度は向上しましたか	5
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	5
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	5
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	4
	20	今後の課題や改善点について話し合いましたか	4
総合評価	評価合計		97
	評価平均		4.9

3年目の事業  
 実行委員会体制、地元町内会も参加者が増加、アンケート結果  
 実行委員会体制  
 参加人員  
 予算案の承認  
 主体の明確化  
 幹事会の開催  
 幹事会の開催  
 幹事会の開催、地元回覧  
 駐車等  
 実施報告・決算書公開せず  
 参加者増  
 アンケート  
 マスコミ取材  
 実行委員会  
 不足気味  
 反省会

チェック項目を5段階評価	
「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1

記入日	平成19年 月 日	
記入者	所 属	建設局河川課広瀬川創生室
	職 名	主事
	氏 名	佐藤 幸輝

【重点事業の実施概要】

実施事業	「広瀬川で遊ぼう」の開催	
実施内容	広瀬川の新たな魅力の創出を図るため、5月5日のこどもの日を中心に世代を超えて多くの市民が、広瀬川に親しめるイベントを広瀬川宮沢緑地で開催した。	
事業を協働した団体	広瀬川市民会議、仙台市、荒町・南材地区連合町内会、及川酒店、広進堂、ホワイトストーン、川崎町の資源を守る会、宮城県仙台土木事務所、国土交通省仙台河川国道事務所	
実績	数値で表すことのできる成果	参加者延べ人数約3,400人
	数値で表すことのできない成果	地域住民との連携が深まり、「広瀬川で遊ぼう」の企画が定着しつつある。
実施日	平成19年度	平成19年5月3日～5月5日
各主体の役割実績	市民	「広瀬川で遊ぼう」へ積極的に参加した。
	NPO	「広瀬川で遊ぼう」を企画・運営した。
	行政	「広瀬川で遊ぼう」の広報・支援・参画をした。
	企業	地域の商店が参加した。（4店舗）

【自己評価】

実績結果	
成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標としていた参加市民数2,400名に対して、3,400名の参加があり、また、地元町内会や市民活動団体、商店会等の参加が拡大した。</li> <li>・ホームページによる紹介、報道機関への資料提供、地元町内会や窓口におけるチラシ配布等の広報を行った。（取材：河北新報、東北放送ラジオ、宮城テレビ）</li> </ul>
実施上の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の課題であった太白区町内会等への呼びかけについては、町内会や小学校へチラシを配布するなどを行い、アンケート調査によるとH18年：744人からH19年：816人と増加している。</li> <li>・若林区地元町内会への説明を実施したが、町内会内部での周知が徹底されなかった。</li> </ul>
自己評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候にも恵まれ、成果目標を達成することができた。太白区からの来場者も増加した。</li> <li>・3日間連続で来場した家族もあり、来場者からの感想も概ね好評であった。</li> </ul>
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元町内会への周知・広報について、さらに働きかけを強める必要がある。</li> <li>・Eポートやポニー乗馬体験などの人気アトラクションは、申し込みが殺到した。発券方法を含め整理の必要がある。</li> <li>・鯉の絵付け・昔遊びなど、テーマを決めて実施するなど検討が必要。</li> <li>・広く市民参加が可能なアトラクションを検討する必要がある。</li> <li>・駐車場の利用、交通規制について充実を図る必要がある。</li> <li>・宮沢緑地は平成19年10月に宮城県から包括占用の許可を受け、イベント用の駐車場の整備を行っており、当該河川敷の利活用が進みやすくなる。</li> </ul>

広瀬川創生プラン・平成19年度重点事業評価票（仙台市）

資料2-2

記入日	平成19年 月 日	
記入者	所 属	建設局河川課広瀬川創生室
	職 名	主事
	氏 名	佐藤 幸輝

【重点事業の計画概要】

【重点事業2】	広瀬川ホームページの充実	
事業の説明	広瀬川に関する市民活動のポータルサイトとして活用されるよう、広瀬川ホームページの充実を図ります。また、広瀬川流域の魅力を紹介する「広瀬川100選」の充実を図り、広瀬川をフィールドとして市民活動を展開する際に利活用できる流域別・目的別の「広瀬川利活用マップ」の作成に着手します。	
事業を協働する団体	仙台市、広瀬川市民会議	
目 標	数値で表すことのできる成果	1日あたりのトップページアクセス数が100アクセス以上となることを目指します。
	数値で表すことのできない成果	広瀬川に関する市民活動百科事典として活用されることを目指します。
事業スケジュール	平成19年度	活用しやすい内容の充実を図るとともに、認知度を上げる働きかけを行います。
各主体の役割	市 民	積極的に活用するとともに、意見・提案を投稿します。
	NPO	積極的に活用するとともに、広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供します。
	行 政	広瀬川関連事業に関する情報を提供・公開します。
	企 業	広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供します。

【重点事業の実施概要】

実施事業	広瀬川ホームページの充実	
実施内容	「携帯電話版ホームページ」、写真ブログ「広瀬川へ行こう」の新設、広瀬川散策マップの作成、広瀬川100選の拡充等広瀬川ホームページの充実を図った。	
事業を協働した団体	広瀬川市民会議、東北放送(株)、仙台観光コンベンション協会	
実 績	数値で表すことのできる成果	トップページアクセス数：113件/日(平成19年4月～平成19年12月平均)
	数値で表すことのできない成果	国・水利組合・他市町村・仙台市内学校が視察研修のため来庁。
実施日	平成19年度	通年
各主体の役割実績	市 民	積極的に活用するとともに、意見・提案を投稿した。
	NPO	積極的に活用するとともに、広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供した。
	行 政	広瀬川関連事業に関する情報を提供・公開した。
	企 業	広瀬川に関連する行事・イベント情報を提供した。

【自己評価シート】

段 階	No.	評 価 項 目	評 価
計 画	1	事業の目的は明確ですか	5
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5
	3	事業に対する市民ニーズはありますか	5
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	5
	6	成果や目標は明確ですか	5
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	5
実 施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	3
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	3
	12	必要な時期に情報交換しましたか	3
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	4
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5
終 了	15	事業の成果目標は達成できましたか	5
	16	市民の満足度は向上しましたか	4
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	4
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	3
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	5
	20	今後の課題や改善点について話し合いましたか	5
総合評価	評価合計		89
	評価平均		4.5

5年目の事業  
カレンダー100選への参加  
アクセス数の増加、問い合わせ  
本市のみ  
アクセス数  
業務工程表  
本市のみ  
計画的な事業展開  
市民側の投稿等が低調  
情報提供が少ない  
情報提供が少ない  
h p そのもの  
アクセス数増加  
アクセス数増加  
マスコミ取材  
市民・NPO側からの理  
予算規模の範囲としては十

【自己評価】

実績結果	
成果目標の達成状況	・目標としていた1日あたりのトップページアクセス数100アクセスに対し、113アクセス(12月31日現在)と目標を達成した。(平成18年度 94アクセス/日)
実施上の問題点	・「広瀬川100選」「広瀬川活動カレンダー」「掲示板」等の企画に対して市民からの投稿・書き込みが低調である。
自己評価結果	・コンテンツの更新、新規企画(マップ、携帯サイト、ブログ、ポストカード)他のホームページとのリンクを行った結果、成果目標は達成されており、視聴者の拡大は図られているものと思われる。 ・特に、マップについては、平成20年のデスティネーションキャンペーンのプレイベント用に4種類(三居沢、宮沢、〇、〇)作成し、経済局と連携し、市民、観光客への周知を図った。 ・今年度中に「(仮称)広瀬川子ども館」を掲載し、総合学習等での活用できる内容を作成する予定である。
今後の課題	・引き続き、「広瀬川ホームページ」の認知度を上げる取り組みを進めていく。 ・市民、NPO、企業との協働事業に対する理解を深め、積極的に活用される方策を検討する。

チェック項目を5段階評価

「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1

広瀬川創生プラン・平成19年度重点事業評価票（仙台市）

記入日	平成19年 月 日	
記入者	所 属	建設局河川課広瀬川創生室
	職 名	主事
	氏 名	佐藤 幸輝

【重点事業の計画概要】

【重点事業3】	「広瀬川1万人プロジェクト」の開催	
事業の説明	100万都市・仙台市の1%の1万人をキーワードとした広瀬川流域の一斉清掃を実施する。	
事業を協働する団体	広瀬川市民会議（広瀬川1万人プロジェクト実行委員会）	
目 標	数値で表すことのできる成果	前年度を上回る参加者を目指します。（平成18年度：参加者336名、ごみ量326袋他粗大ごみ）
	数値で表すことのできない成果	市民活動の拡大と参加市民数が増えることを目指します。
事業スケジュール	平成19年度	「広瀬川の清流を守る条例」制定日の9月28日に近い日程で開催します。
各主体の役割	市 民	「広瀬川1万人プロジェクト」に積極的に参加します。
	NPO	「広瀬川1万人プロジェクト」を企画し、運営します。
	行 政	「広瀬川1万人プロジェクト」に参画するとともに、開催を広く市民に呼びかけます。
	企 業	「広瀬川1万人プロジェクト」の開催を後援します。

【重点事業の実施概要】

実施事業	「広瀬川1万人プロジェクト」の開催	
実施内容	100万都市・仙台市の1%の1万人をキーワードとし、広瀬川流域の一斉清掃を広瀬川清流保全条例の制定日にちなみ実施した。	
事業を協働した団体	広瀬川市民会議、市民、NPO、企業	
実 績	数値で表すことのできる成果	参加者652名、443袋+粗大ごみ、企業等からの協賛金もが集まった。（175,000円≧予算）
	数値で表すことのできない成果	市政だよりに掲載された。
実施日	平成19年度	平成19年9月29日
各主体の役割実績	市 民	当日清掃に参加した。
	NPO	事業の企画運営を行った。
	行 政	広報活動及び当日の清掃に参加した。青葉・若林環境事業所によるごみ回収を行った。記者クラブに資料を送付した。
	企 業	協賛金(品)の支出と当日の清掃に参加した。

【自己評価シート】

段 階	No.	評 価 項 目	評 価	
計 画	1	事業の目的は明確ですか	5	6年目の事業 実行委員会体制、企業も 参加者が増加 交流会の開催など 実行委員会体制 参加人員 予算案の承認 主体の明確化
	2	多様な主体が参画できるようになっていますか	5	
	3	事業に対する市民ニーズはありますか	5	
	4	社会への波及効果や相乗効果を検討しましたか	5	
	5	主体間での役割分担を明確にできていますか	5	
	6	成果や目標は明確ですか	5	
	7	事業の実施計画や収支計画をつくりましたか	5	
	8	各主体の立場を理解、尊重することができましたか	5	
実 施	9	目標に向かって事業を実現しようと努力しましたか	5	幹事会の開催  幹事会、実行委員会の開催 ごみ回収、駐車場等 決算書
	10	各主体の役割分担を果たしましたか	5	
	11	各主体間の協力や連携は良好でしたか	5	
	12	必要な時期に情報交換しましたか	5	
	13	課題発生への対応は迅速でしたか	5	
	14	事業内容の報告をつくり公開しましたか	5	
終 了	15	事業の成果目標は達成できましたか	5	参加者増 参加者には好評 マスコミ取材 実行委員会 不足気味 ワーキンググループ新たな体制作り
	16	市民の満足度は向上しましたか	4	
	17	社会への波及効果や相乗効果はありましたか	5	
	18	各主体の協働事業に対する理解が深まりましたか	5	
	19	事業の規模や予算は適切でしたか	5	
	20	今後の課題や改善点について話し合いましたか	5	
総合評価	評価合計		99	
	評価平均		5.0	

【自己評価】

実績結果	
成果目標の達成状況	・参加者数652名(H18年336名)が増加し、また回収したごみの量が443袋+粗大ごみとごみ収集量も増加し、次第に市民へ浸透してきている。
実施上の問題点	・会場によりごみが多い会場と少ない会場の差があり、清掃以上に実施する企画を検討する必要がある。
自己評価結果	・NPO・市民活動団体・企業などで構成する実行委員会の体制も確立し、取組みや活動の広がりがみられ、参加者数増にも結びついた。 ・企業からの協賛金も得られ、財政的にも独立できた。
今後の課題	・広く参加を呼びかけ、引き続き広報に努める。 ・清掃以外にも広瀬川と親しむきっかけとなる企画を検討していく。

チェック項目を5段階評価

「はい」	5
どちらかといえば「はい」	4
どちらともいえない	3
どちらかといえば「いいえ」	2
「いいえ」	1